東胆振管内の農業技術情報です。対象地域以外には適用できませんのでご注意下さい。

営農技術情報
【大雨】

令和４年10月３日

胆振農業普及センター東胆振支所
TEL0145-42-2528・FAX0145-42-5597

～大雨に備えて～

胆振地方では、４日は前線の通過により雷を伴った激しい雨が降り、大雨となる見込みです。前線の活動の程度によっては、警報級の大雨となるおそれがあります。

大雨による土砂流亡や浸水、農業用施設などへの影響が懸念されることから、随時発表される気象情報に十分注意し、次の事項の徹底に努めて下さい。

気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp

１　共通事項

(1) 風雨が強くなってからは、ハウスに近づかない。

(2) 取水場や排水場の水門の稼働状況や河川の管理状況（ダムの放水情報など）などを把握し、雨水のほ場への流入に警戒する。

(3) 作物が風雨に揉まれ損傷した場合、 病虫害防除を行う際には、収穫見込みまでの日数を考慮し防除ガイドを遵守し適正に行う。

２　大雨対策

(1) 施設の点検・補修を行い、風雨による被害を未然に防止する。

(2) 施設周辺に排水溝を掘る。特に、ビニールハウス周辺の排水溝は、ハウスのすき床面より低く掘り下げる。

(3) ボイラーなど移動できる機械類は可能な限り高所に移す。

(4) 冠浸水後の排水が速やかに行われるよう、ほ場周辺や排水路の点検整備を行う。
また、浸水や滞水の被害を受けた場合は、速やかな排水に努める。

３　ビニールハウスの大雨対策

(1) 開口部や施設各部の損傷・ゆるみなどを点検し、必要に応じて補修等を行う。

(2) ハウスの筋かいは、全体の筋かいが均等に締め付けられるように調節する。また、ハウス中央部に支柱を設置し、大雨に対するハウス強度を高める。

４　停電・断水対策

(1) 大雨などの影響で停電・断水の恐れがあるので、特に畜舎では発電機の手配、自家発電機の試運転、発電能力と使用する施設・機械の必要電力の確認、給水タンクの手配などの対策を事前に行う。

(2) 酪農では、停電により搾乳及びバルククーラーの冷却ができない場合は、次を参考に対策に努める。
①前回搾乳から16時間位までの搾乳中止は、乳量や乳質に特に問題は生じない。
②発電装置は搾乳を最優先事項とし、発電能力に合わせて通電する優先順位を決める。
③停電により搾乳が不可能な場合、牛舎への出入りは必要最小限にし、牛に搾乳刺激を与えない。また、給水制限すると同時に濃厚飼料の給与は控える。また、手搾りが可能な酪農家は泌乳前期牛の搾乳を優先する。